

平安杯 第 67 回 全九州バレーボール総合選手権大会（高校の部）県予選会
兼 第 77 回 国民体育大会選手選考会
競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2022 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則および競技要項により実施する。
2. 試合はすべて 3 セットマッチとする。準々決勝戦までトーナメント方式で行った後、上位 4 チームによる総当たりの決勝リーグ戦を行う。
3. 監督またはコーチは、試合当日 08:30 より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。
4. 開館および試合開始時刻は、抽選会および代表者会議資料に記載してある通りとする。全試合 60 分設定（試合開始時刻はホイッスル時間）で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームの退館および会場の消毒や換気の完了後（試合が連続する場合は、退館完了の 15 分後）、受付係または審判員の指示に従って入館し、10 分間（補助員後に続けて試合をする場合は 20 分間）の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合の入館時刻は、試合開始時刻の 25 分前とする。
5. 大会 1 日目の豊見城市民体育館および那覇市民体育館のコート設営は、第 1 試合のチームが 08:30 に入館して行う。
6. 大会使用球は、(公財) 日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
男子：ミカサ (V300W) 女子：モルテン (V5M5000)
7. チームの構成は監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合は、リベロプレーヤーを必ず 2 名含むこと。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。
8. 選手のエントリー（18 名以内）およびベンチスタッフの変更は、「参加申込書」原本の提出により行い、当該チームの初戦開始 30 分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない。
9. 各試合の「コンポジションシート」は、第 1 試合は、試合開始時刻の 30 分前までに、第 2 試合以降は、前の試合の第 1 セット終了までにエントリー委員に提出すること。ただし、試合が連続する場合は、前試合終了後に速やかに提出すること。また、各試合終了時に、主審または副審より受け取り、試合毎に提出すること。0

10. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時に副審またはスコアラーに提出すること。
11. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者で、マネージャーが生徒の場合、プロトコール時に、主審による所在確認を受けること。
12. 第1試合のチームのコート練習についても、他の試合と同様に、入館後の10分間の合同練習のみとし、開館前のコート練習については、一切認めない。
13. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。
14. 公式練習終了15分後になってもコートに来ないチームは失格とする。
15. 補助員（記録・点示・ラインジャッジ）は、入館者リストに記載された部員から選出した8名とし、前試合の負けチームで行う。ただし、大会1日目の第1試合については、当該コートでの第3試合（組み合わせによっては第2試合）のチームで行い、大会2日目の第1試合については、当該コートの第2試合の両チームで行う。また、大会3日目については補助役員を配置する。
16. 試合への出場選手以外（監督・コーチ・マネージャー・プレー中でない選手）は、全員がマスクを着用すること。出場する選手の着用していないマスクについては、衛生面に気をつけチームで管理を行うこと。
17. 競技中のハイタッチは、腕のタッチにとどめる。また、タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は禁止とし、飲料は、個人で十分な量を準備すること。
18. チームは、コートチェンジの際、ベンチおよびモップも一緒に移動すること。試合終了後には、ベンチおよびモップの柄を消毒すること。
19. 試合間およびセット間は、窓・ドア・カーテンを可能な限り開放して換気を行う。また、試合中も、プレーおよびジャッジへの影響を考慮した上で、可能な限り換気を行う。
20. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。
21. 手袋を着用してのプレーは、原則禁止とする。
- ~~22. 太鼓等の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。~~